

高槻革新懇ニュース

2009年12月10日

発行●平和・民主・革新をめざす高槻の会（略称高槻革新懇）

TEL 072-685-8640

FAX 072-685-8641



北京・ハルビンへ行ってきま
した

四回目になる高槻革新懇の旅行は、中国へ18人の参加で行ってきました。大都會の北京、歴史が残る盧溝橋、万里の長城、胡同、ハルビンでは、731細菌部隊陳列館、日中戦争での日本軍の加害の実態を目の前にして戦争の恐ろしさを改めて知らされましました。中国でのガイドさんが最後の挨拶で、「歴史を踏まえたい。中国での交流をしたい。」

二つの国の民衆の交流。中国へたくさん来てもらいたい。民間の交流が大事だと思う」と言われました。

「日本と中国の歴史を考える。日本の加害責任と中国の発展」

10月31日に元赤旗北京支局長の田端さんを講師にお迎えし26人の参加で学習会を持ちました。

日本と中国の分岐点と日本の加害の状況。中国の発展などについて話していただきました。

* 久しぶりの学習会で中国史の一端を思い出しました。大変良かったです。日本の島国根性の現れが出た侵略行為でなかったでしょうか。（小田桐 央）

* 何となく知っていたつもりなのに中国について改めて歴史的な事実を話してもらい、認識を新たにしました。影響力の大きい中国の政治については、これからも目を離せないと思いました。真の友好を深めるためにも。（正田 トシ子）

* 学校が私学であったせいか、歴史で中国

への侵略戦争について習った記憶がないので、今回の学習会に参加させていただきました。知識がないので、よく理解できませんでした。皆様方の意見を聞いて、もつと本を読んで知らなければとおもいました。（長野 逸子）

全国革新懇総会

10月24、25日奈良市で開かれました。高槻からは6人が参加しました。

今こそ革新懇の出番！

日本共産党の志位委員長は「国民の政治を変えて欲しいという期待、このままでは大丈夫かなという不安、新しい政治への探求の三つに応える革新懇運動の飛躍が必要だ」と特別発言をされました。

